



御成門だより

港区立御成門中学校 〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-30
電話 03-3436-3551 FAX 03-3436-3552 E-Mail onarimon-js@minato-tyky.ed.jp

東日本大震災被災地を視察して

御成門中学校長 石鍋 浩

夏休みの最終週に、全日本中学校長会として東日本大震災の被災地である福島県、宮城県、岩手県を訪問してきました。大震災から6年半が経過し、私たちが暮らしている東京では3月11日が近づいたときを除いて、震災の話題は明らかに少なくなっています。しかし、被災地を訪問してわかったことは、「震災の被害は数多くの残っており、復興への道のりはまだまだ遠い。多くの方々が必死になって努力を続けている。」ということでした。

福島県では、東京電力福島第一原子力発電所を視察しました。建屋が水素爆発で吹き飛ばされた1号機は当時のままの状態、建屋上部には瓦礫が積み重なり、骨組みだけの状態でした。核燃料の抜き出しは2020年から開始するとのことでした(9月のニュースでは、3年延期すると報じられました)。また、原発周辺の帰還困難地域は震災当時のままで、倒壊した家、ガラスが割れたままの商店等があり、地域への立ち入りを禁止するバリケードが張り巡らされていました。完全な廃炉までは30年から40年かかると言います。震災からの復興へはまだまだ多くの困難を乗り越えなければならないことを知らされました。

宮城県では、震災時に市の指定避難場所として避難民を受け入れた中学校を訪問しました。当時の困難な状況の中、避難所としてうまく機能したとのこと。体育館の天井が落下したり、電気が止まったりという被害がありましたが、無事だった高架水槽の水やプールの水を使用することができたそうです。理科室にあったろうそくや隣接する神社から提供されたろうそくを使って明かりを確保したそうです。また、給食室を開放し、高架水槽の水と備蓄食材を使って避難民に温かい食事を提供することができたそうです。この他にも数多くの対応がなされたことを伺い、避難所としての学校の意義や重要性を痛感しました。

岩手県では、避難所になった中学校の生徒たちが学校に届いた支援物資を地域の方々に届ける活動をしたそうです。2年後には「がんばっていこう」という思いを後輩たちに引き継ぎたいと考え、復興ソングの作詞作曲もしたとのこと。全校生徒がその復興ソング「未来へ」の合唱で視察した私たちを出迎えてくれました。感動で胸が一杯になりました。また、津波が500メートルにわたる防浪堤を押し倒し、グラウンドが瓦礫の山となった中学校も視察しました。校舎の一部を使って教育活動を再開できるまでに半年かかったそうです。その後も各地で復旧工事が進められています。当時、小学校低学年の児童、保育園・幼稚園の幼児であった今の中学生は、使命感をもって全力で復興に力を注いでいます。

4日間という限られた時間の中での視察でしたが、東京では知ることができなかった震災当時の様子、復興への道のりなどについて、ほんの一部だけですが知ることができました。また、一方では、時間の経過とともに、震災に関する記憶が薄れたり、震災の被害が風化していることも知りました。

私は今、御成門中学校の校長として、被災した地域の方々が地域の再生のために懸命に努力していること、中学生をはじめとする若者たちがこれからの復興の担い手になっていくことなどについて、生徒たちに伝えていかねばならないと思っています。そして、これからも、私たち教職員と生徒たちが共に学びながら、震災の被害が風化しないように、後輩たちに引き継いでいかねばならないと強く感じています。保護者・地域の皆様も、日頃から機会を見つけて生徒たちと「3.11」や様々な災害について、そして復興について話してみてください。



道徳授業地区公開講座 9月16日(土)



9月16日(土)に実施しました道徳授業地区公開講座では、ご多用の中多数の皆様にご参観いただきありがとうございました。生徒の日頃の姿を見ていただけたことと思います。また、生徒の心を育てる授業を一時間ですがご覧いただけたことと思います。講演会を「これからの道徳教育」について講師を国立教育政策研究所 教育課程調査官でいらっしゃる澤田 浩一先生をお招きし、実施いたしました。先生のお話の中で道徳の授業はいろいろなことを取り上げることができる。子どもに影響を与える言葉の大切さのお話がありました。小学校の保護者の方々もたくさんご参加いただき、ありがとうございました。

生徒の様子



避難訓練 9月1日(金)

非常事態に備えた避難訓練を実施しました。校庭に避難後、地域班ごとに集合し、班長の指揮のもと1年生から3年生までと一緒に集団下校と班長による帰宅報告を実施しました。

緊張感をもって行動する姿は立派でした。

秋の交通安全運動 9月21日(木)~30日(土)

全国で開催されている秋の交通安全運動の一日の29日(金)に新旧生徒会が参加し、愛宕警察交通課の方々と交通安全運動を行いました。御成門の交差点で旗を持ち、登校する中学生はもとより小学生や通勤途中の方々へ、交通安全を呼びかけました。

水泳記録会 9月6日(水)

港区スポーツセンターにて水泳記録会が行われました。今年も『御成門中 大活躍』の一日となりました。チーム監督の大会新記録という言葉の通り2つの競技で大会新記録を出しました。どの生徒も健闘し、すばらしい記録会でした。

大会記録

1年男子 50m 自由形1位 高島駿佑くん 大会新
3年男子 50m 自由形1位 高島洋佑くん
共通男子 50m 背泳ぎ1位 木下匠くん
共通男子 200m (50×4) リレー1位 御成門中学校

2年女子 50m 自由形 1位 栗山沙弥香さん
共通女子 50m 背泳ぎ 1位 深瀬真子さん
共通女子 200m (50×4) リレー1位 御成門中学校
※誌面の都合で1位の生徒のみの掲載となりましたが、他に2位5名、3位2名が入っています。

海外派遣報告会 9月9日(土)



夏休みに区内中学校2年生のオーストラリア・パースへの海外派遣生徒の報告会が御成門小学校で行われました。全員がすべて英語で、充実した海外派遣での生活や学んだことを発表しました。また、楽しかった生活の一端も紹介されました。この発表は合唱コンクールの折にも行います。

特別支援教室の通室の申込みについて

平成30年4月から、通常の学級での学習におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に、区内全中学校において通級指導を行う特別支援教室を開室します。特別支援教室とは、巡回指導教員が生徒の在籍校を巡回し、コミュニケーションや学習面で課題や心配がある生徒を対象に指導を行う教室です。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員についても今まで通り配置を希望することができます。

平成30年4月から、特別支援教室の通級を希望される保護者の方や学習支援員の配置を新規に希望される保護者の方は、11月17日(金)までに、担任、佐藤主任養護教諭(特別支援コーディネーター)、または副校長に連絡してください。

保護者・地域の皆様へ

11月3日(金・文化の日)には合唱コンクールを開催いたします。生徒の実行委員会も発足し、準備を進めています。どうぞ、ご期待ください。